観客とともにその場所のドラマに立ち会う。「弱い野外劇」の可能性。 REVIEW

POTALIVE
小竹向原編 vol.1『界』
駒場編 vol.1『museum』
2006年3月2日〜11日

今春、散歩しながら見る演劇「ポタライブ」の新作2本がアゴラ劇場の「冬のサミット」参加作として上演された。作演出は岸井大輔。アゴラ劇場がある駒場周辺と、アトリエ春風舎がある小竹向原駅周辺、2つの町からドラマを掬い上げる連続公演はポタライブの到達点と可能性を開いて見せた。

小竹向原を舞台にした作品「界」（さかい）では、「ひょっとこ乱舞」の女優、伊藤沙保が散歩コースの案内役を務める。10名ほどの参加者一行は案内役に連れられて集合場所の小竹向原駅から歩き始め、「住宅地の中に古くからの農家が残っている」と説明を聞きながら歩いてゆくと、古くから続く小竹村の歴史を調べたいきさつが語りだされる。

なんでも徳川家の二代将軍秀忠に嫁いだお静という娘が昔このあたりに居たらしいが、周辺の旧家に訊ねてみても「昔村から外に嫁ぐことは無かったはず」という答えしか返ってこない。「こんな時の秘策は神社に詣でる人を待ち構えて取材すること。それで、素盞嗚尊を祭る神社の前にいたら、ひとりの若い女性にたまたま出会って『その話お母さんから聞いた』って『お静の方』が居た場所に案内してくれたんです」そんな風に、実際に神社を通りながら案内する伊藤の言葉はいつしか「子どものころはまだあの道路ができていなくて」と語りに登場した女性のモノローグにうつりかわっていく。ポタライブの中心的な作家である岸井大輔本人が案内役を務めることも多いが、今回は岸井が案内役のセリフを伊藤に当て書きしたとか。

小竹向原周辺に住んでいたという女性のモノローグは、伊藤の素と見える案内と切れ目無く入れ替わり、やがて町を案内する語りはお静の方と秀忠の出会いを娘に伝える母親の語りになっている。そして、その母親が語る向原の団地で暮らす戦後の物語は、秀忠とお静の物語と重ね合わされ、さらに秀忠の物語は夢語りの中でスサノオ伝説と二重写しになる。そんな複線的な物語が、今は暗渠に埋められた川の痕跡を辿る散歩に重ねあわされて進行してゆく様は、土地にちなんだドラマが歴史の古層から立ち上がるかのようだ。

今回「冬のサミット」をディレクションした岡田利規は「野外に負けないために強いパフォーマンスを行う野外劇一般の手法とは逆に、弱い表現を挿入してまちに眠るドラマを感じさせていくのがPOTALIVEの方法」と書いていた。「界」では、ジョギング中のように散歩の一行を追い抜いたり、公園で傘を洗ったり、座って本を読んでいたり、一見さりげなく直接物語とは関わらないようなパフォーマンスの積み重ねが風景を際立たせ、むちゃくちゃにバットを振り回すようなパフォーマンスが、スサノオの戦いや秀忠の苦悶に折り重なる。

語りの断片から物語の核となる原型的イメージが引きずり出されたあと、ラストシーンでささやかながら毅然とした生活への願いへと結晶されていく語りは、コンクリートの護岸で固められた石神井川にかかる橋の上で、大昔の関東平野に広がる原野のイメージと溶け合って終わる。町の風景を舞台と化する試みと壮大な物語とが見事に結びつき、ポタライブの到達点を示す佳作となった。

「界」での語る主体の入れ替わりはチェルフィッチュの手法を思わせもしたが、自分の住んでいた場所の記憶を語るという設定の伊藤の演技に連れられてその場を歩いていると、まるで自分に語りかけられているかのようだ。チェルフィッチュの方法論とは幾分異なる仕方で、フィクションが立ち上る場に観客は巻き込まれている。そんな、ポタライブが持つ観客参加の可能性をより強く押し出したのが駒場編「m useum」だった。

ポタライブでは案内人に連れられて参加者一行が固まって歩くことになるが、「museum」では、岸井が案内する作品と平行して役者達が別の案内人に連れられる一行を演じるというトリッキーな構成で前半進行する。ここでは、ドラマの現場に立ち会う参加者が幾分か互いをパフォーマーとしても見ているという構造自体が作品に取り込まれている。

駒場にあった帝国陸軍の拠点の跡を辿る散歩は戦前の政治史の転換点を主題化して行くのだが、わけもわからず歴史に巻き込まれることと上演に立ち会うことが入れ子的な作品構成の相対化の企てにおいて照応するかのようで、未消化な部分も大きいと思われたが、ポタライブに残された未開拓の可能性は大きいと感じさせる上演だった。

（柳澤 望）

（写真）左…『界』より　撮影／中橋一弥
右2点…2006年の作品『泡』より

die pratze『ダンスがみたい！9』が今年も開催！！

ダンスがみたい！9〈京都×東京〉
★神楽坂die praze
7月16日（月・祝）＆17日（火）…花嵐＋相良ゆみ（京都＋東京）
7月31日（火）＆8月5日（水）…手塚夏子（東京）
8月6日（月）＆7日（火）…砂山典子（C.Snatch Z/Dumb type）（京都＋東京）
8月9日（木）＆10日（金）…玉内集子（新人シリーズ5新人賞受賞）（東京）
8月12日（日）＆13日（月）…Shop-pin'gocart（新人シリーズ5オーディエンス賞受賞）（東京）
★麻布die pratze
7月21日（土）＆22日（日）…目黒大路＋東野祥子（東京）
8月4日（土）＆5日（日）…砂連尾理（砂連尾理＋寺田みさこ）（京都）
8月22日（水）＆23日（木）…セレノグラフィカ（京都）
ダンスがみたい！9〈インターナショナルシリーズ〉
★神楽坂die pratze
7月10日（火）＆11日（水）…コリー・ベフォート（シアトル）
7月13日（金）＆14日（土）…Mayukan（繭感）＋滝田高之（オーストリア＋東京）
8月2日（木）〜4日（土）…財津暁平×Taca×大由鬼山（フランス）
★麻布die pratze
7月18日（水）＆19日（木）…CHAOS ROYALE＋86B210＋松本隆（イギリス＋東京）
8月1日（水）＆2日（木）…VIBE DANCE GROUP（韓国）
8月25日（土）＆26日（日）…加藤文子（シカゴ）
【チケット】前売り2500円／当日3000円
学生は500円引き
5回券＝9000円（学生7000円）　通し券＝15000円（学生12000円）…両シリーズで使えます。1演目につき1回有効、各30枚限定die pratzeのみで販売。
【予約】
神楽坂die　praze（火曜定休12:30〜17:30）…03-3235-7990
kagurazaka2000@ybb.ne.jp
麻布die prazte（月曜定休18:00〜23:00）…03-5545-1385　azabu26@ybb.ne.jp
website…http://www.geocities.jp/azabubu/

カットイン Vol.59 2007年4月号　発行／タイニイアリス　ディ・プラッツ　アート・ネットワーク・ジャパン　編集／小笠原幸介　090-5391-0588　kousukeogasawara@mail.goo.ne.jp　DTP／ORANGE, OGA

実際の旅館を舞台に行われた２つの作品に注目。 REVIEW

想像力への尋常ならざる触手

スパンドレル／レンジ 番外地公演『花会』
2007年４月７日～８日　旅館 西郊

子供のころ、桜の季節が過ぎると心底ホッとした。ぼくの生家は幸か不幸か公園に隣接し、いつも花見客のどんちゃん騒ぎに巻き込まれたのだ。深夜まで喧嘩騒ぎが続き、一升瓶で殴られた血だらけの酔客がよく救急車で運ばれた。残された反吐やゴミの山を翌朝かたずけるのがぼくらの仕事になる。桜の季節はうんざりする厄災、憂鬱の季節だった。

スパンドレル／レンジの番外公演「花会」（4月7日～8日）の予告を見つけたときはだから、「花会」などと称して桜と花見をこぎれいなシンボルに仕立てるのかと気が進まなかった。ところがどっこい、公演に足を運んで正解だった。
この集団らしい、屈折した桜のイメージをちゃんと用意してくれたのだ。

会場は杉並の老舗旅館の和室。畳に座布団を敷いて座り、縁側を即席舞台にした１時間ほどの小品だった。ふすまを外し紅白の幕で仕切っ隣部屋に、コントラバスとアコーディオンのデュオが控え、生演奏で舞台の進行と追いつ追われつ、不気味な憂鬱とねじれた美醜の妖しい空気を奏でるのである。

縁側のガラス戸越しに見える中庭は思ったより冴えなかったが、「桜の精」を自称する篠原里枝子のキャラクターが飛び抜けて映え、旅館の主人（田谷淳）や女将（北島佐和子）の実力派をすっかり食ってしまうほどだった。すっとぼけた表情が一瞬で変化し、上目遣いで人を射抜くような視線をちらりと浴びせる。身に着けた赤い和服もかわいらしいと言うよりは、どこか血にまみれた桜のイメージを掻き立てる。

そういえばこの芝居は、芝居自体に自己言及する内閉空間を紡ぎながら、桜の下に女将を埋めたなどと、坂口安吾や梶井基次郎の小説から借りてきたイメージをちりばめていた。しかしそれはあくまで物語の仮象。終幕を迎えるあたりで女たちが毛虫の化身だと言い立てる姿こそが、スパンドレル／レンジの指し示す桜のイメージなのではないだろうか。

花見が終わるとわが家の周辺は毛虫の大群に襲われた。その毛虫が、きらびやかな蝶になって飛び立つのか巨大な蛾に生まれ変わるのかは知らないけれど、花が散ったあとに着目するところこそ、想像力への尋常ならざる触手が感じられるのである。**（北嶋孝／マガジン・ワンダーランド編集長）**

↑スパンドレル／レンジ…撮影／塩坪三明（3点とも）

→徒花＊…撮影／由利優樹（2点とも）

東京の持つ「違和感」とは？

『嘘を数える』徒花＊
2007年２月17日～18日、24日～25日
旅館西郊

徒花＊（「とかだん」と読む）の公演『嘘を数える』は荻窪駅から近い旅館を舞台にした作品だ。小雨の降る中会場に着くと、そこは実に典型的な純日本風の旅館。廊下から日本庭園を臨む客室に案内され、座布団に座って前方の舞台を見ると、ふすまで仕切られた向こうの空間からはテレビの音がもれていた。

ストーリーはまさに福島から東京の旅館に泊まりに来た一組の兄妹の話である。福引きで当たった東京ディズニーランド招待券を持って東京にやってきた、うだつの上がらない兄と結婚を間近に控えた妹の会話から浮かび上がるのは、「東京」という場所が持っている違和感のようなものだ。

さて、横浜出身の筆者の印象からすると、「旅館」が東京にある…というのは非常に奇妙なものである。旅行とは東京以外の場所へ行くことだと思っているからだ。地方からやって来た２人の感じている違和感と、東京の旅館という場所が喚起する私の違和感が重なり、非常に面白く感じた。

最近になって「ディズニーランド」という場所をモチーフにして「東京」を語る芝居を観ることが多い。『千葉にあるのに東京ディズニーランド』という明らかな矛盾や、着ぐるみの中に人が入っているのを誰も公言してはいけないという虚構性などが、東京のもつイメージと似ているからだろう。この芝居でもディズニーランドの影が出て来たので、興味深い傾向だと思った。

２人がそれぞれの日常に感じている倦怠感ものを、東京という街が変えてくれる訳ではなく、むしろ場所を変えてもそのもやもやが続いていくという状態が、終始乾いたタッチで描かれていた。そのことを語る上で、「東京にある旅館」という場所はとても有効なものに思われた。**（小笠原幸介）**

IN TOWN　カーテンコール

●4月某日、阿佐ヶ谷アルス・ノーヴァにて上杉満代舞踏秘儀、マダムメランコリア其の五『愛の巨人』を観る。黒い暗幕で全体を覆われた狭い空間にクラシカルな音楽が流れ、独特な雰囲気を作り出している。２人の踊り手が現れ、乾いた音のする鳴り式のようだ舞う。そして上杉の登場。その踊りについては、何か斬新な視点がある訳ではない。しかしその存在感、登場するだけで醸し出される空気というのは独特である。客を圧倒するような力強い存在感ではなく、強いのだが妖しさと、どこか優しさを兼ね備えている。そして印象的だったのは作品の最後に行われるカーテンコールだ。上杉がバレエ風のステップでステージの中央に躍り出て、会釈をする。それまでの緊張した空気が一転し、客席と舞台の間にあった壁が取り払われた…というような、何とも晴れやかな瞬間が訪れたのだ。それまでの舞台上でのものではない、自ら自身に戻ったような上杉の表情と、その姿を待ちわびたかのような観客の拍手。こんな清々しいカーテンコールを観たことが無い。踊りの魅力というものが、結局は踊り手のパーソナリティに多くの部分を負っているのだ、ということを強く思わされたシーンだった。（小笠原幸介）

●先月号にて麻布 die pratze の閉館についての記事を掲載したが、阿佐ヶ谷の小劇場アルス・ノーヴァも５月をもって閉館するという。およそ劇場に見えないような外観に、年季の入った内装のその存在感は、演劇の街阿佐ヶ谷ならではのとも言えるものだっただけに、それが無くなるのは実に寂しい思いがする。

●今号では劇場以外の場所で行われた演劇公演を三本取り上げた。なかでも PO-TALIVE の作品は街の中で行われる演劇だが、街の中に非日常的なものを持ち込むのではなく、日常を再発見するための視点を得るために演劇を用いているのが興味深い。劇場以外の場所で公演すること自体は新しい試みではない。その場所で公演することの必然性、あるいは問題意識がなければ、劇場での公演とまるで変わりがないのである。

上杉満代『愛の巨人』より
撮影／神山禎次郎（2点とも）

物語の世界がひろがる、楽しい絵本の会

ワークショップやシンポジウム等の活動を通して 、子どもたちとアーティストが出会う場づくりをするNPO『芸術家と子どもたち』。
その活動の一つとして、にしすがも創造舎に作られたプレイスペース『ギロンと探偵のいる2年1組』では、絵本を使った楽しいワークショップが行われている。ただ絵本を読むだけでない、参加して楽しめるワークショップに、親子で参加してみてはいかがでしょうか。

●読んで遊んで えほんの会
舞台女優のさやかおねえさんが、多彩なメンバーを交えて行うえほんの会。
読むのはもちろん、楽器やおもちゃ、体遊びを楽しく取り入れて絵本の世界を広げます！
どんな絵本に出会えるかな？ 家族みんなでのんびり気ままにご参加ください！ リクエストもどうぞ！

【日時】…6月9日（土）
1回目　11：00〜12：00
2回目　14：00〜15：00
【対象】…対象年齢は限定しませんが、1回目は年少くらいまで、2回目はそれ以上の子ども向きの内容となります。
【場所】…にしすがも創造舎2階「ギロンと探偵のいる2年1組」
【申込】…不要　10分前くらいにお越しください。
【参加費】…無料

4月に実施した同イベントの様子は以下URLでご覧いただけます。
http://children-art.net/staffblog/002action/001space/4.php

■さやかおねえさん　プロフィール
赤羽 さや香 （アカハネ　サヤカ）
平成12年、加藤直プロデュース『三文オペラ』に、少年エデ役で出演。以来、神奈川芸術財団ワークショップ集団「ASK」に参加。演出家・加藤直氏、振付家・伊藤多恵氏（かもねぎショット）、役者／歌手・大石哲史氏（オペラシアターこんにゃく座）などの講師と共に、３年間、音楽やダンスと融合した演劇を学びつつ、沖縄や横浜の定期公演に出演してきた。以降、今井尋也氏主宰のパフォーマンス集団「メガロシアター」にて東京のギャラリーなどでの公演に参加。
そのほか、民族音楽や古典音楽が好きで、沖縄の三線、アフリカのジャンベなどを練習中。
最近はホーメイ（のど歌）にはまっている。

■お問合わせ
NPO法人芸術家と子どもたち
E-mail…action@children-art.net
TEL…03-5961-5737
FAX…03-5961-5738

結成23年、全員攻撃参加の「罠」ワールド。生の芝居の魅力を劇場で体感せよ!

新しい演劇を発信する神楽坂と麻布の小劇場
DIE PRATZE より最新ニュース

劇団W.I.T. 2007夏公演『ようこそ、わなへ』
6月26日（火）27日（水）19:30開演　@神楽坂 die pratze
問=090-8117-6661　うぃっと東京本部

★劇団W.I.T. インタビュー
Q—うぃっとのボス・しなやかしなちゃん氏に球場でインタビューしてみました。
A—ほら、今投げてる投手、投げる時に左腕がペローンってなるだろ。だから「ペローン」って呼ばれてる。新人なのに度胸もコントロールもよくて、面白いピッチャーだよ。
Q—今年で結成23年になるうぃっとの芝居とは?
A—23年前と言えば、日本でも路上でキスするカップルが目立ってきた頃。その中の1組が私たち。そういう自覚を持って、ずっとやってきた。足の裏の臭いがするような芝居は作りたくなかった。一方で同世代の作る、カルチャーセンターみたいな作品にも違和感ありまくり。私たちの芝居は、運動だと思ってる。「キスすれば世界が変わると信じてた」昔から、これは変わらない。歳はだいぶ食ったけど、「車道でベルを鳴らし続ける自転車」でありたいね。
Q—今のこの国の状況にどんな危機感を持っている??
A—管理されることへの警戒・拒絶がなくなり過ぎかと。わが家の周りに何十階建てのマンションがいっぱい建って、綺麗で広くて値段もそこそこだけど、人間の工場みたいで。当然みんなオートロック。わざわざ高いローン組んで檻に入る。なんでかなぁって。自動改札あたりから、段々慣らされてきたよね。管理社会とか管理教育とか、そういう言葉自体聞かれなくなった。マスコミや権力の言うことなんて、まずは信じないのが当たり前だ。そういうことも、学習してやっと1つずつわかる、そんなレベルなのかもしれない。
巨人戦の視聴率とかだけで、「プロ野球の人気は落ちた」とか。むしろ球場で観るのが一般化して、面白くなってきてるのに。「広島カープは不人気球団だ」とかもね。神宮のレフトスタンドを見てみ。真っ赤だろ。ヤクルト側より多い。ビジターなのに、東京なのにね。何でか知ってる?　面白いからさ。大勢に阿らず、金にもの言わすでもなく、自前で工夫してチームを作ってる。それはファンの応援スタイルとも呼応してる。TVじゃわからない。球場で直接触れればわかる。
芝居だって同じだ。作られた人気とか以前に「いいところがあるんだからいい」！ 当たり前のことを、意識的に口にしていく必要が、すごくある状況だと思ってる。
Q—次回作「ようこそ、わなへ」にもその辺の思いが込められている?
A—「ようこそ、わなへ」、これ元々、劇団名の一部なんですよ。キーパーも前線に上がって全員攻撃！ ぐらいのものはありますね。役者3人だけど平日のナイトゲームだね。die pratzeは屋内だから水に濡れる心配はないけど、何が起こるかわからない生の舞台ってやつをたっぷり味わってほしいな。
言っとくけどウチの芝居へボいよ。チョロいよ。罠とわかって、はまりに来てください!!
Q—どうもありがとうございました。

JOIN IN THE PICNIC　期待の公演情報

◆神楽坂die pratze
5/31（木）〜6/3（日）
エロティック・クライスト『ポジティブオナニー・ネガティブセックス』
前売＝¥2000　当日＝2500
問＝オフィス☆クラクラ　TEL＝080-6589-2348　◎作・演出＝ふじたばくや　出演＝浜井美樹　栗山雅史　芦澤あい　ハスイ雅／他　◎10年ぶりに再会した姉と弟。自分も他人も愛せず生きる彼等の先には“近親相姦”という禁断の関係性だった・・・。元風俗ライター・ふじたばくが見た歪んだ愛の物語。

◆麻布die pratze
7/11（水）〜7/16（月）
演劇集団WHATCOLOR
第9回公演『フィルムと夕凪』
問＝m-o-s@msj.biglobe.ne.jp
作・演出＝石山英憲（Theatre劇団子）　出演＝古泊明敏　山岸里江　ちょーすけ　他

←photo
by KAZUHIDE SEKINE

訂正とお詫び

先月号のdie prazeページに写真の取り違えのミスがありました。ノイ企画と稽古場の会の本文と掲載写真が逆になっており、関係者の方々にご迷惑をおかけ致しました。ここに訂正と同時にお詫びをさせて頂きます。
まことに申し訳ありませんでした。（CUT IN）

『父産（とうさん）』をテーマに繰り広げられる都会派スラップスティックコメディ。

劇団印象
2007年6月8日（金）～11日（月）
◎新宿タイニイアリス

2007年
6月8日(金)　7:30PM
6月9日(土)　2:00PM＆7:30PM
6月10日(日)　2:00PM＆6:00PM
6月11日(月)　3:00PM＆7:30PM

※受付開始は開演の45分前、開場は開演の30分前となります。
【作・演出】…鈴木厚人
【出演】…加藤慎吾　園芸家すみれ（ポップンマッシュルームチキン野郎）　岡本祐介（ペピン結構設計）　片方良子　山田英美　斎藤真帆　竹原じむ（フルタ丸）
【舞台美術】…坂口祐
【舞台監督】…川田康二
【宣伝美術】…大野舞 “denali”
【照明】…内山和美
【選曲・音響】…勝俣あや
【制作】…まつながかよこ
【料金】…前売2000円　当日2400円（全席自由席）
【お問合せ】
Tel：090-1613-6026（制作）/Fax：020-4623-0365
E-mail：info@inzou.com
HP：http://www.inzou.com/

■劇団印象-indian elephant-
劇団印象、『印象』と書いて『いんぞう』と読みます。
劇団印象-indian　elephant-は、2003年1月、鈴木厚人を中心に結成。横浜を拠点に活動を開始。
以来一貫して、主宰である鈴木厚人の戯曲作品を上演。2006年から活動拠点を新宿に移し、公演毎に実力のある役者を集めるセミ・プロデュース公演スタイルに移行。第1回公演から、なぜかタイトルは漢字で2文字。「鴉姫（からすひめ）」「嘘月（うそつき）」「穴鍵（あなかぎ）」「幸服（こうふく）」「空白（そらしろ）」「望遠（ぼうえん）」「友霊（ゆうれい）」「愛撃（あいうち）」そして、次回第8回公演は『父産（とうさん）』となりました。
ウィットやユーモアに富んだ台詞回しと、アイロニーに満ちたストーリー展開、歌舞伎を思わせるケレンな舞台造形を駆使しながら、観劇後、劇場を出た観客の生活や目に映る景色の印象を変える、そんなエンターテインメントを発信しています。

■第８回公演『父産（とうさん）』
母産（カアサン）でもなく、嫁産（ヨメサン）でもなく、父産（トウサン）をテーマに、消費社会を風刺し、観客を笑殺します!
お見逃しにくい全7回公演やりますです!
また、昼ギャザシステムを今回初めて導入しました!
6/11(月)=3:00PMの回は昼ギャザ公演を行います。
お誘い合わせの上、ぜひお越し下さい!

撮影／平澤賢治（2点とも）

schedule for MAY 2007

TINY ALICE / NPO ARC

新宿区新宿2-13-6 光亜ビルB1 tel&fax 03-3354-7307
http://www.tinyalice.net　tokyo@tinyalice.ne.jp

5月23日(水)～5月28日(月)■机上風景
『幻戯』　問＝tel:03-5946-4880
☆作・演出＝高木登　☆出演＝平山寛人　加藤更果　石黒陽子　浜恵美　浜野隆之　村上由起　美穂丸　古川大輔　◎本作の舞台は時代から取り残されたような遊郭です。ここを訪れた三十を過ぎていまだ女性を知らぬ小説家、手だれの娼婦、口のきけぬ謎めいた娼婦、この三人のミステリアスな関係を中心に、どこか屈折し、歪んでしまった現代の「性」の在り様を、幻想的なタッチで描きます。
5月31日(木)～6月3日(日)■あ!?プロジェクト
『約束?これが私の生きる理由?』　☆作・演出＝コバヤシタダシ
☆出演＝小野修史　本多純子　中島智一　海菜　湊裕子　篠原良美　小林理
◎あ!?プロジェクトの「あ」とは日本語の「あ」、アルファベットの「A」のことです。物事の始まりを意味します。何事もスタートしなければ前へ進むことが出来ないのです。今回第五回公演となるこの作品も、昔交わした約束を守るために、一歩前へ踏み出す勇気のお話です。この作品を通して皆様も一歩前へ進む、生きる勇気を持ってください。
6月4日(月)～5日(火)■桜会
『何もない空間（百連発II）』問＝03-3401-4403
☆演出＝阿部良　☆出演＝阿部良　女鹿伸樹　上村拓馬　松村元太　他　◎「何もない空間」に俳優、ミュージシャン、お笑い芸人達が次々に登場。精一杯のパフォーマンス。たとえば阿部は一人芝居、「一休反米」を披露。
6月8日(金)～11日(月)■劇団印象-indian elephant-
『父産』問＝tel:090-1613-6026　Fax:020-4623-0365　E-mail:info@inzou.com
☆作・演出＝鈴木厚人　☆出演＝加藤慎吾　園芸家すみれ　岡本佑介　片方良子　山田英美　斉藤真帆　竹原じむ　◎劇団印象-indian elephant-は、2003年1月、鈴木厚人を中心に結成。横浜を拠点に活動を開始。以来一貫して、主宰である鈴木厚人の戯曲作品を上演。2006年から活動拠点を新宿に移し、公演毎に実力のある役者を集めるセミ・プロデュース公演スタイルに移行。ウイットやユーモアに富んだセリフ回しと、アイロニーに満ちたストーリー展開、歌舞伎を思わせるケレンな舞台造形を駆使しながら、観劇後、劇場を出た観客の生活や目に映る景色の印象を変える、そんなエンターテインメントを発信しています。第8回公演となる『父産（とうさん）』は/東京の片隅に、息子と二人で暮らす父親がいた。息子は、今日にも結婚して家を出る。そうなれば、明日から一人ぼっち。孤独に怯えた父親が奇想天外な事件を巻き起こす、都会派スラップスティックコメディーです。
6月18日(月)■TAICHI-KIKAKU
『金色の魚　輪廻』　問＝tel:03-5385-9137　E-mail:taichi-k@mub.biglobe.ne.jp
☆テーマ・演出：モリムラ　ルミコ　☆出演：オオハシヨースケ　ヨシダ朝　モリムラルミコ　◎日本のパフォーマンスグループTAICHI-KIKAKYが生み出した世界(06年までに21カ国で公演)で通用する「言葉を越えた演劇」一身体詩ー。タイニイアリスの協力で一年を通じて創り上げていきます。
6月20日(水)～6月24日(日)■核弾頭ベイビーズ
『HOTEL竜宮城』　問＝tel:080-5542-3868
E-mail:kakubebi0824@ezweb.ne.jp
☆作＝青草井少年　☆演出＝青草井少年　☆出演＝霧々須　ケンジ　兎原武彦　KING　塚乃間鉄人　馬屋長男　白ヶ鳥冬萌　種田菜沙　青木祐美子　飛魚翔太　青草井少年　◎今回で第７回となりました。今回のお話は、核ベビ初のホラー。お芝居の他、ライブハウスのコントと少しづつであるが幅をを広げている、核ベビ。今回のお話には客演として前回参加をしてくれた青木嬢に加え、飛魚翔太という核ベビ初参加の役者を加えての公演。あなたはこの公演、最後まで直視できますか？　どんなものが出てもかならず見て下さい、ってか見なさい。さみしいから。

神楽坂 die pratze

〒162-0812　新宿区西五軒町2-12　T&F 03-3235-7990

5月25日(金)～27日(日)■Gucci&Bocci番外企画
『蜘蛛女のキス』　問＝PICOTAKE事務局　TEL＝090-4673-3893（蟹江）　☆作・制作＝マヌエル・プイグ　☆監修＝高橋征男　☆出演＝木村準　大竹浩史　他
◎刑務所に閉じ込められた二人の男、ブルジョワ育ちの革命家と母親思いのホモ男。孤独で退屈な時間の中、二人の男は・・・二人に流れた不思議な魅力的な時間。
5月31日(木)～6月3日(日)■エロティック・クライスト
『ポジティブオナニー・ネガティブセックス』　問＝オフィス☆クラクラ　TEL＝080-6589-2348　☆作・演出＝ふじたばくや　☆出演＝浜井美樹　栗山雅史　芦澤あい　ハスイ雅／他
6月8日(金)～10日(日)■虚飾集団廻天百眼
『夢屋』　問＝http://papillon.daa.jp/　hyakumail@gmail.com　090-2157-8811　☆作・演出＝石井飛鳥　☆出演＝大島朋恵　御手洗花女（母檸檬）　紅日毬子　白亜　礼音　他　◎赤襦袢・淫夢・獣・ヴァムピール。花舞う血が舞う夢が舞う。通り魔ロック楽団「母檸檬」のエレキのうねりに悪夢舞台が浮き上がる！　廻天百眼四発目本公演！
6月22(金)～24(日)■カイン丸
『一妻多夫～お父さん達の七日間戦争～』　問い合わせ＝03-3986-0166　090-4430-8170(タチザワ)http://www.k4.dion.ne.jp/~cainmaru　☆作・演出＝立澤和博　☆出演＝日野賢治　土井貴文　佐々木麗明　岡島亜佐美　棒葉夏江(Gooday co.)他…
◎今、家族を問う！ お父さん達が家族を変える!! そう、お父何人いたっていいじゃないか!!! 新生カイン丸が描く家庭内エンターテイメント!

麻布 die pratze

〒106-0044　港区東麻布1-26-6-2F　T&F 03-5545-1385

5月25日(金)～27(日)■ダンスカンパニー カレイドスコープ
『The World of Kaleidoscope vol.2 7人のコレオグラファーによる―Members Dance Show Case』　問＝046-238-1902（ダンスカンパニー カレイドスコープ）　☆振付＝二見一幸　田保知里中村真知子　大竹千春　佐々木紀子　高杉あかね　喜多真由子　◎ダンスカンパニー カレイドスコープで活躍するダンサー6人をクローズアップし、代表の二見作品を交えて7つのコンテンポラリーダンス新作を上演する！
6月1日(金)～3日(日)■リリィ座☆『ジャングルの女』
問＝090-6476-9039（リリィ座）　☆作・演出＝笠原朋子　☆出演＝鈴木良子　別所美和　斎藤愛　松本恵理　笠原朋子　◎昆虫王国で蝶と人間の間に生まれた主人公ムシコ。恋人の死・再会・家族・使命・ジャングルの危機！馬鹿馬鹿しさ全開で送るハイテンションミュージカル！！
6月8日(金)～10(日)■自由彩図(フリーサイズ)
『LITLLE RENGERs』　問＝03-3495-5291（(株)エクスィード・アルファ）　☆作・演出＝伊与久直人　☆出演＝未定　◎何がしたいんだレンジャー号！ がんばれレンジャー号！ 大丈夫か？ レンジャー号隊員達！ 我々はちっぽけだ…、とてつもなくちっぽけだった…。
6月14日(木)～18(月)■THEATRE MOMENTS
『マクベス～シアワセのレシピ～』　問＝03-6760-9709（劇団）
☆原作＝シェイクスピア　☆構成・演出＝佐川大輔　☆出演＝中原くれあ　矢原将宗　関谷美香子　小椋礼　鈴木貴子　西森寛　他　◎シェイクスピア「マクベス」をMOMENTS版トータルシアターとしてリメイク。「情報と人間」という切り口で、「感じ、想像し、体験できるマクベス」に！
6/23(土)～24(日)■オグオブ『針子の虎!!』
問＝090-1911-0614（オフィス・オグオブ）　☆作・演出＝内沢信介　☆出演＝中村香織　呉屋希美　畑ひろ江　山下櫻子　蒲生和也　千葉みどり　他　◎時は江戸の世。所は大坂。田舎から出てきたばかりの少女ビスコは花魁道中の美しさに打たれ、あんな素敵な衣裳を作ってみたいと心を決まる。それから三年…。
6月26日(火)～27日(水)■演劇舎 猫の事務所
『歌入り和英二ヶ国語ひとり芝居「薬屋の秘密2」』
問＝047-328-8175（演劇舎 猫の事務所）　☆作＝室井三紀　訳＝遠山顕　☆演出＝畑圭之助　☆出演＝遠山顕　◎NHK英会話入門の人気講師、遠山顕がおくる一人芝居。ジャズバーを舞台に一人の男が過去を語る。同じ作品を英語でも上演。
6月29日(金)～7月1日(日)■Log.No,
『【Log.No,02】ワラえるハナシ（仮題＝課題）』　問＝03-5666-4190(Log.No,)　☆作・演出＝笠井健夫　☆出演＝久樹賢　荒井めぐみ　岩下真梨　市川麻衣子　小久保寿人　◎ろぐなんばーの第二弾は笑える話です。設定もストーリーも今はあかせません。笑って楽しんでいただき、あわよくば感動の涙を流していただくお芝居です。

schedule for MAY 2007